

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／資産複合 特化型	
信託期間	2025年4月10日まで（2015年5月8日設定）	
運用方針	円建ての外国投資信託であるJリート アンド リアル エステート エクイティ ファンド 米ドル・クラスの投資信託証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。また、当該外国投資信託への投資を通じて、実質的な保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行います（このため、基準価額は米ドルの対円で為替変動の影響を受けます。）。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。わが国の不動産株式およびリートの運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の助言のもと、三菱UFJアセット・マネジメント（UK）が行います。また、為替取引の運用は、クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドが行います。	
主要運用対象	三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型>（3ヵ月決算型）	Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス	日本の不動産株式および不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度*が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- ファンドは、わが国の不動産株式およびリートに実質的に投資します。わが国の不動産株式およびリートには、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ Jリート不動産株ファンド
＜米ドル投資型＞（3ヵ月決算型）

愛称：メトロポリス

第29期（決算日：2022年7月11日）

第30期（決算日：2022年10月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ Jリート不動産株ファンド＜米ドル投資型＞（3ヵ月決算型）」は、去る10月11日に第30期の決算を行いましたので、法令に基づいて第29期～第30期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 書 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分	配 金	騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円	
21期(2020年7月10日)	7,801	0	4.1	—	—	98.9	1,599	
22期(2020年10月12日)	8,004	0	2.6	—	—	99.0	1,588	
23期(2021年1月12日)	8,357	0	4.4	—	—	99.0	1,576	
24期(2021年4月12日)	10,000	34	20.1	—	—	90.0	1,764	
25期(2021年7月12日)	10,000	308	3.1	—	—	87.8	1,584	
26期(2021年10月11日)	9,844	0	△ 1.6	—	—	90.1	1,392	
27期(2022年1月11日)	9,775	0	△ 0.7	—	—	92.8	1,297	
28期(2022年4月11日)	10,000	856	11.1	—	—	87.6	1,211	
29期(2022年7月11日)	10,000	1,118	11.2	—	—	88.5	1,076	
30期(2022年10月11日)	10,000	1,000	10.0	—	—	92.7	1,153	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第29期	(期 首) 2022年4月11日	円 10,000	% -	% -	% -	% -	% 87.6
	4月末	10,433	4.3	-	-	-	99.0
	5月末	10,548	5.5	-	-	-	97.1
	6月末	11,533	15.3	-	-	-	99.0
	(期 末) 2022年7月11日	11,118	11.2	-	-	-	88.5
第30期	(期 首) 2022年7月11日	10,000	-	-	-	-	88.5
	7月末	10,179	1.8	-	-	-	98.8
	8月末	10,628	6.3	-	-	-	98.9
	9月末	10,706	7.1	-	-	-	98.9
	(期 末) 2022年10月11日	11,000	10.0	-	-	-	92.7

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

第29期～第30期：2022年4月12日～2022年10月11日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第29期首	10,000円
第30期末	10,000円
既払分配金	2,118円
騰落率	22.3%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ22.3% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国の金融当局による金融引き締めを嫌気する局面もあったものの、国内の大手不動産企業において2022年度会社計画及び増配や自己株式取得など株主還元策が好感されたことや、国内での安定した事業基盤が評価されたことなどから不動産株式市況が上昇したことなどがプラスに寄与しました。

米国の金融当局による金融引き締めを嫌気する局面もあったものの、国内において金利が大きく上昇することなく推移したことや、新型コロナウイルスの感染者拡大収束後の経済再開期待などを背景に、国内リート市況が上昇したことなどがプラスに寄与しました。

米ドルが対円で上昇したことなどがプラスに寄与しました。

第29期～第30期：2022年4月12日～2022年10月11日

投資環境について

▶ 株式・リート市況 不動産株式市況や国内リート市況は上昇しました。

当作成期の不動産株式市況は、高水準のオフィス・ビル空室率や賃料の下落基調継続に加え、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、インフレ圧力の強まりから金融引き締めを急速に進めていくことへの警戒感などから、一時的に下落する局面もありましたが、国内の大手不動産企業において2022年度会社計画及び増配や自己株式取得など株主還元策が好感されたことや、国内での安定した事業基盤が評価されたことなどから上昇基調で推移しました。

当作成期首から2022年8月末にかけての国内リート市況は、不動産株式市況と同様に米国の金融引き締めへの警戒感から一時的に下落する局面もありましたが、国内において金利が大きく上昇することなく推移したことや、新型コロナウイルスの感染者拡大収束後の経済再開期待などを背景に上昇基調で推移しました。その後は、9月のFOMCにおいて積極的な利上げを継続する姿勢が示されたこと

で、米金利が大きく上昇し、国内においても景気減速懸念が強まったことなどから当作成期末にかけては下落しました。結果、当作成期間を通してみると国内リート市況は上昇しました。

▶ 為替市況 米ドルは対円で上昇しました。

米国の金融当局による金融引き締めなどを受けて、米国の長期金利が上昇した一方、国内においては、日本銀行が長期金利を抑える姿勢を示しており、金融緩和が継続する中で、日米の長期金利差が拡大したことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場 無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.022%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ リート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)

外国投資信託であるリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ リート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス

わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式およびリートを主要投資対象とするとともに、保有円建て資産に対し円売り・米ドル買いの為替取引を行う運用を行いました。

投資する株式およびリートについては、東京圏における売上・収益依存が高い、あるいは今後の売上・収益の拡大が期待され、東京圏の経済活性化により恩恵を受けるか等の観点で選別した不動産株式

と、保有物件が主として東京圏にある国内リートの中から、将来のキャッシュフロー予測、保有不動産価値評価、業績予想等の分析に基づき、銘柄選定を行いました。

組入銘柄数は45~49銘柄程度で推移させました。

主な売買動向については、森ヒルズリート投資法人を新規に組み入れ、オープンハウスグループ、ヒューリックリート投資法人、オリックス不動産投資法人などのウエイトを引き上げました。一方でサンケイリアルエステート投資法人などを全売却し、パーク24、日本都市ファンド投資法人、大和ハウスリート投資法人などのウエイトを引き下げました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第29期 2022年4月12日～2022年7月11日	第30期 2022年7月12日～2022年10月11日
当期分配金（対基準価額比率）	1,118 (10.056%)	1,000 (9.091%)
当期の収益	137	689
当期の収益以外	980	310
翌期繰越分配対象額	637	536

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ リート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)

外国投資信託への投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場している不動産株式およびリートを高位に組み入れた運用を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

▶ リート アンド リアルエーステートエクイティ ファンド 米ドル・クラス

欧米において高水準のインフレが継続していることで、金融引き締め長期化とグローバルな景気後退への懸念が強まっています。国内においてもコストアップが顕在化する中、相次ぐ値上げが国内の消費動向に与える影響について今後の動向を見極める必要があるとみております。一方、日本銀行が長期金利を抑える姿勢を維持しており、こうした金融緩和策を背景とした低金利環境が当面続くとみられ、配当利回りなど各種バリュエーシ

ンを勘案すると、不動産株式市況及び国内リート市況は引き続き底堅く推移するとみています。このような市況見通しのもと、個別銘柄ごとの業績動向を見極めて選別投資を行っていく方針です。

東京圏の経済活性化の恩恵を受ける不動産株式および保有物件が主として東京圏にあるリートの中から、将来のキャッシュフロー予測、保有不動産価値評価、業績予想の分析に基づき、業績が安定的かつバリュエーション面で割安感のある銘柄への投資を中心に行います。

なお、保有円建て資産に対し、円売り・米ドル買いの為替取引を行います。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2022年4月12日～2022年10月11日

1万口当たりの費用明細

項目	第29期～第30期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	64	0.604	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(22)	(0.204)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.386)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	64	0.606	

作成期中の平均基準価額は、10,611円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

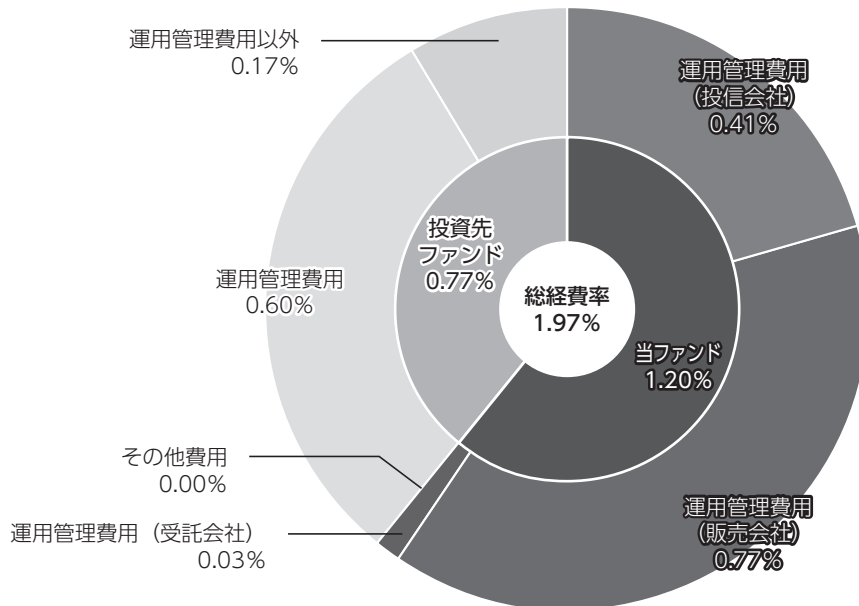
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.97%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.97
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.60
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.17

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年4月12日～2022年10月11日)

投資信託証券

銘柄		第29期～第30期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	Jリートアンドリアルエステートエクイティファンド米ドル・クラス	49千口	452,632千円	70千口	661,800千円

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月12日～2022年10月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年10月11日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第28期末	第30期末		比率
		口数	口数	評価額	
	Jリート アンドリアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス	126千口	106千口	1,068,999千円	92.7%
合計		126	106	1,068,999	92.7

(注) 比率は三菱UFJ リート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		第28期末	第30期末	
		口数	口数	評価額
	マネー・マーケット・マザーファンド	3,063千口	3,063千口	3,119千円

○投資信託財産の構成

(2022年10月11日現在)

項 目	第30期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,068,999	% 79.3
マネー・マーケット・マザーファンド	3,119	0.2
コール・ローン等、その他	275,635	20.5
投資信託財産総額	1,347,753	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第29期末	第30期末
	2022年7月11日現在	2022年10月11日現在
	円	円
(A) 資産	1,200,535,061	1,347,753,734
コール・ローン等	244,232,403	275,634,055
投資信託受益証券(評価額)	952,982,964	1,068,999,985
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	3,119,694	3,119,694
未収入金	200,000	—
(B) 負債	124,163,793	194,036,634
未払金	—	73,000,000
未払収益分配金	120,337,350	115,371,165
未払解約金	27,961	2,128,186
未払信託報酬	3,788,762	3,528,115
未払利息	61	178
その他未払費用	9,659	8,990
(C) 純資産総額(A-B)	1,076,371,268	1,153,717,100
元本	1,076,362,707	1,153,711,650
次期繰越損益金	8,561	5,450
(D) 受益権総口数	1,076,362,707口	1,153,711,650口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,000円	10,000円

○損益の状況

項 目	第29期	第30期
	2022年4月12日～ 2022年7月11日	2022年7月12日～ 2022年10月11日
	円	円
(A) 配当等収益	15,217,021	18,882,517
受取配当金	15,218,739	18,884,315
受取利息	6	4
支払利息	△ 1,724	△ 1,802
(B) 有価証券売買損益	108,315,271	90,742,772
売買益	122,009,176	94,171,537
売買損	△ 13,693,905	△ 3,428,765
(C) 信託報酬等	△ 3,798,421	△ 3,537,105
(D) 当期損益金(A+B+C)	119,733,871	106,088,184
(E) 前期繰越損益金	34,636,981	31,867,001
(F) 追加信託差損益金	△ 34,024,941	△ 22,578,570
(配当等相当額)	(30,345,343)	(39,260,107)
(売買損益相当額)	(△ 64,370,284)	(△ 61,838,677)
(G) 計(D+E+F)	120,345,911	115,376,615
(H) 収益分配金	△120,337,350	△115,371,165
次期繰越損益金(G+H)	8,561	5,450
追加信託差損益金	△ 34,024,941	△ 22,578,570
(配当等相当額)	(30,345,343)	(39,260,107)
(売買損益相当額)	(△ 64,370,284)	(△ 61,838,677)
分配準備積立金	38,256,255	22,584,020
繰越損益金	△ 4,222,753	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首(前作成期末)元本額 1,211,990,776円
 作成期中追加設定元本額 203,059,765円
 作成期中一部解約元本額 261,338,891円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0000円です。

②分配金の計算過程

項 目	2022年4月12日～ 2022年7月11日	2022年7月12日～ 2022年10月11日
費用控除後の配当等収益額	14,749,044円	18,273,391円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	83,872,739円
収益調整金額	30,345,343円	39,260,107円
分配準備積立金額	143,844,561円	35,809,055円
当ファンドの分配対象収益額	188,938,948円	177,215,292円
1万口当たり収益分配対象額	1,755円	1,536円
1万口当たり分配金額	1,118円	1,000円
収益分配金金額	120,337,350円	115,371,165円

○分配金のお知らせ

	第29期	第30期
1万口当たり分配金 (税込み)	1,118円	1,000円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	Jリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド 米ドル・クラス
運用方針	主として日本の金融商品取引所に上場している不動産株式および不動産投資信託証券に投資することにより、資産の中長期的な成長および配当収益の獲得をめざします。また保有円建て資産について、円売り・米ドル買いの為替取引戦略を活用することにより、追加的なリターンの獲得をめざします。銘柄選定にあたっては、東京圏の経済活性化により恩恵を受けると期待される銘柄に投資を行います。不動産株式および不動産投資信託証券の組入比率は、各々、純資産総額の50%程度とすることを原則とします。
主要運用対象	日本の不動産株式および不動産投資信託証券
主な組入制限	・不動産株式および不動産投資信託証券について、同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、純資産総額の35%以内とします。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として毎月分配を行う方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表はAUDITED ANNUAL REPORT SEPTEMBER 30, 2021版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされていないものは「Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド」で掲載しています。また、「Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド」を「マスターファンド」と表示する場合があります。

(1) 運用計算書

Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド (2020年10月1日～2021年9月30日)

	Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
	円
投資収入：	
配当収入（源泉徴収税16,314,506円控除後）	90,464,343
その他収入	450
	90,464,793
費用：	
その他費用	(2,291,764)
代行費用、マネージャー費用	(7,583,181)
監査報酬	(1,536,972)
副マネージャー費用	(15,081,340)
副保管費用	(3,672,665)
管理費用、保管費用	(5,544,619)
受託費用	(1,210,542)
	(36,921,083)
投資純収入	53,543,710
実現純利益（損失）：	
投資有価証券	370,331,966
為替予約	8,806
金融資産（ロング）	156,092,526
	526,433,298
実現純利益（損失）	526,433,298
未実現評価益（評価損）の純変動：	
投資有価証券	611,091,022
金融資産（ロング）	40,830,244
	651,921,266
運用による純資産の純増（減）額	1,231,898,274

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
(2020年10月1日～2021年9月30日)

	Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
	円
期首純資産	4,406,893,677
投資純収入	53,543,710
実現純利益（損失）	
投資有価証券	370,331,966
為替予約	8,806
金融資産（ロング）	156,092,526
	526,433,298
未実現評価益（評価損）の純変動	
投資有価証券	611,091,022
金融資産（ロング）	40,830,244
	651,921,266
出資カバードコールクラス	571,012,607
出資米ドルクラス	448,495,087
償還カバードコールクラス	(957,900,000)
償還米ドルクラス	(988,300,000)
分配金額カバードコールクラス	(528,812,607)
分配金額米ドルクラス	(78,495,087)
	(1,534,000,000)
期末純資産	4,104,791,951

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資有価証券明細表 (the Schedule of Investments)

Ｊリート アンド リアルエステート エクイティ ファンド
(2021年9月30日現在)

銘柄	通貨	数量	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
SHARES					
<i>JAPAN</i>					
ADVANCE RESIDENCE INVESTMENT CORP	JPY	111	38,649,057	40,182,000	0.98%
DAIBIRU CORP	JPY	24,900	29,650,271	41,134,800	1.00%
DAIWA HOUSE REIT INVESTMENT CORP	JPY	338	101,772,022	110,357,000	2.69%
GOLDCREST CO LTD	JPY	11,700	19,953,882	19,808,100	0.48%
HEIWA REAL ESTATE CO LTD	JPY	15,300	48,238,680	59,287,500	1.44%
HULIC CO LTD	JPY	66,300	77,348,415	82,742,400	2.02%
IIDA GROUP HOLDINGS CO LTD	JPY	27,100	67,744,281	78,075,100	1.90%
JAPAN AIRPORT TERMINAL CO LTD	JPY	22,900	119,196,078	126,408,000	3.08%
MITSUBISHI ESTATE CO LTD	JPY	224,700	428,552,916	400,078,350	9.75%
MITSUI FUDOSAN CO LTD	JPY	197,100	476,261,607	525,764,250	12.81%
NOMURA REAL ESTATE HOLDINGS INC	JPY	33,700	81,187,530	98,336,600	2.40%
OPEN HOUSE CO LTD	JPY	20,400	98,956,722	135,048,000	3.29%
PARK24 CO LTD	JPY	82,800	174,932,272	157,982,400	3.85%
STARTS CORP INC	JPY	21,900	57,823,450	58,363,500	1.42%
TOKYO TATEMONO CO LTD	JPY	33,900	53,310,891	60,138,600	1.47%
TOKYU FUDOSAN HOLDINGS CORP	JPY	221,300	136,300,862	152,697,000	3.72%
UNITED URBAN INVESTMENT CORP	JPY	127	18,046,635	19,151,600	0.47%
			2,027,925,571	2,165,555,200	52.77%
TOTAL SHARES			2,027,925,571	2,165,555,200	52.77%
<i>REAL ESTATE INVESTMENT TRUST</i>					
<i>JAPAN</i>					
ACTIVIA PROPERTIES INC	JPY	205	88,385,332	93,685,000	2.28%
COMFORIA RESIDENTIAL REIT INC	JPY	151	51,623,641	51,868,500	1.26%
DAIWA OFFICE INVESTMENT CORP	JPY	27	17,759,331	20,304,000	0.49%
DAIWA SECURITIES LIVING INVESTMENTS CORP	JPY	343	37,806,739	38,347,400	0.93%
FRONTIER REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	163	66,024,364	79,707,000	1.94%
GLOBAL ONE REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	165	18,402,949	19,140,000	0.47%
GLP J-REIT	JPY	707	128,377,597	129,522,400	3.16%
HEIWA REAL ESTATE REIT INC	JPY	76	8,901,480	12,494,400	0.30%
HULIC REIT INC	JPY	92	14,644,710	16,146,000	0.39%
INDUSTRIAL & INFRASTRUCTURE FUND INVESTMENT CORP	JPY	333	58,556,519	67,499,100	1.64%
JAPAN EXCELLENT INC	JPY	87	11,642,373	11,866,800	0.29%
JAPAN LOGISTICS FUND INC	JPY	118	37,279,665	39,058,000	0.95%
JAPAN METROPOLITAN FUND INVEST	JPY	1,316	141,603,751	141,206,800	3.44%
JAPAN PRIME REALTY INVESTMENT CORP	JPY	51	19,021,584	20,655,000	0.50%
JAPAN REAL ESTATE INVESTMENT CORP	JPY	203	133,244,993	135,604,000	3.30%
KENEDIX OFFICE INVESTMENT CORP	JPY	25	16,987,364	19,175,000	0.47%
KENEDIX RESIDENTIAL NEXT INVESTMENT CORP	JPY	150	32,166,186	32,580,000	0.79%

銘柄	通貨	数量	取得原価	市場価格	対純資産比率 (%)
<i>REAL ESTATE INVESTMENT TRUST (continued)</i>					
LASALLE LOGIPORT	JPY	275	48,827,938	51,562,500	1.26%
MITSUI FUDOSAN LOGISTICS PARK INC	JPY	98	55,932,369	57,820,000	1.41%
MORI TRUST HOTEL REIT INC	JPY	1,028	108,810,012	141,452,800	3.45%
NIPPON ACCOMMODATIONS FUND INC	JPY	63	39,868,979	39,375,000	0.96%
NIPPON BUILDING FUND INC	JPY	223	151,313,943	161,675,000	3.94%
NIPPON PROLOGIS REIT INC	JPY	343	116,551,181	127,767,500	3.11%
NIPPON REIT INVESTMENT CORP	JPY	47	17,111,016	20,351,000	0.50%
NOMURA REAL ESTATE MASTER FUND INC	JPY	120	19,019,226	19,272,000	0.47%
NTT UD REIT INVESTMENT CORP	JPY	80	11,902,619	12,272,000	0.30%
ORIX JREIT INC	JPY	85	14,490,842	16,490,000	0.40%
SANKEI REAL ESTATE INC	JPY	325	33,664,897	39,650,000	0.97%
SEKISUI HOUSE REIT INC	JPY	1,102	100,904,242	101,824,800	2.48%
SOSILA LOGISTICS REIT INC	JPY	119	20,160,990	19,742,100	0.48%
STARTS PROCEED INVESTMENT CORP	JPY	111	23,327,085	27,505,800	0.67%
TOKYU REIT INC	JPY	65	10,193,564	12,025,000	0.29%
XYMAX REIT INVESTMENT CORP	JPY	350	41,090,581	39,445,000	0.96%
TOTAL REAL ESTATE INVESTMENT TRUST			1,695,598,062	1,817,089,900	44.25%
TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES				3,982,645,100	97.02%
CASH AT BANKS AND BROKERS				112,905,243	2.75%
INVESTMENTS IN FINANCIAL ASSETS (LONG)				18,056,481	0.44%
OTHER NET LIABILITIES				(8,814,873)	(0.21)%
TOTAL NET ASSETS				4,104,791,951	100.00%

マネー・マーケット・マザーファンド

《第35期》決算日2022年5月20日

[計算期間：2021年11月23日～2022年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第35期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第35期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
31期(2020年5月20日)	円 10,182	% △0.0	% —	% —	百万円 1,218
32期(2020年11月20日)	10,182	0.0	—	—	1,133
33期(2021年5月20日)	10,182	0.0	—	—	1,245
34期(2021年11月22日)	10,182	0.0	—	—	1,637
35期(2022年5月20日)	10,182	0.0	—	—	2,897

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2021年11月22日	円 10,182	% —	% —	% —	% —
11月末	10,182	0.0	—	—	—
12月末	10,182	0.0	—	—	—
2022年1月末	10,182	0.0	—	—	—
2月末	10,182	0.0	—	—	—
3月末	10,182	0.0	—	—	—
4月末	10,182	0.0	—	—	—
(期末) 2022年5月20日	10,182	0.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

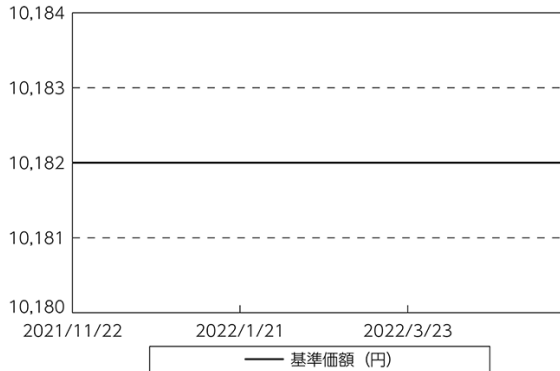
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.020%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

- ・今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年11月23日～2022年5月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年11月23日～2022年5月20日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 186,199,911	千円 185,199,915

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年11月23日～2022年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年5月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,399,999	% 82.8

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2022年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 2,399,999	% 82.8
コール・ローン等、その他	497,537	17.2
投資信託財産総額	2,897,536	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	2,897,536,927
コール・ローン等	497,537,072
その他有価証券(評価額)	2,399,999,855
(B) 負債	273
未払解約金	69
未払利息	204
(C) 純資産総額(A-B)	2,897,536,654
元本	2,845,789,751
次期繰越損益金	51,746,903
(D) 受益権総口数	2,845,789,751口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,182円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,608,067,544円
 期中追加設定元本額 1,332,648,413円
 期中一部解約元本額 94,926,206円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0182円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ バランス・イノベーション(新興国投資型)	1,080,337,852円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	724,723,014円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	506,051,397円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	71,495,153円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	50,938,288円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	47,992,133円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	41,131,411円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	24,765,135円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	16,341,949円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	13,122,469円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
三菱UFJ/マッコーリー オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	11,293,333円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	10,715,809円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,893,887円
マネープールファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	9,876,057円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	9,376,245円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	9,187,206円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	8,478,079円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	8,067,104円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	7,489,236円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	7,196,270円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	6,887,212円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	6,675,966円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ/マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム(毎月決算型)	5,899,118円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	5,812,610円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	5,548,198円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	5,411,821円

○損益の状況 (2021年11月23日~2022年5月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 18,559
受取利息	4,480
支払利息	△ 23,039
(B) 当期損益金(A)	△ 18,559
(C) 前期繰越損益金	29,238,749
(D) 追加信託差損益金	24,254,143
(E) 解約差損益金	△ 1,727,430
(F) 計(B+C+D+E)	51,746,903
次期繰越損益金(F)	51,746,903

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	4,489,124円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	4,433,586円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	4,289,171円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	3,987,431円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	3,947,842円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,857,128円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,683,862円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,517,041円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	3,307,993円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,156,977円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアループルコース> (毎月分配型)	2,895,129円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	2,474,981円
三菱UFJ /ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	2,178,993円
三菱UFJ /ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
バリュエ・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	1,628,892円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	1,528,278円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,491,640円
ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	1,453,944円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	1,378,553円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	1,355,220円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	1,339,040円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	1,171,788円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,149,232円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,074,934円
三菱UFJ /ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,020,693円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,016,827円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	953,994円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	845,131円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアピアコース> (毎月分配型)	669,935円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	665,580円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	642,729円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	521,457円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	511,609円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	490,224円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	368,276円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアループルコース> (年2回分配型)	345,928円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)	282,290円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	278,281円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	217,015円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	215,434円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	213,510円

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	212,322円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	177,761円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	175,974円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	169,198円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	138,420円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	132,542円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	123,415円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89,620円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	89,287円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	60,179円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30,457円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,795円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10,787円
バリュース・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
バリュース・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュース・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
<DC>ベイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	9,822円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
米国株式トレンド・ウォッチ戦略ファンド	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
合計	2,845,789,751円